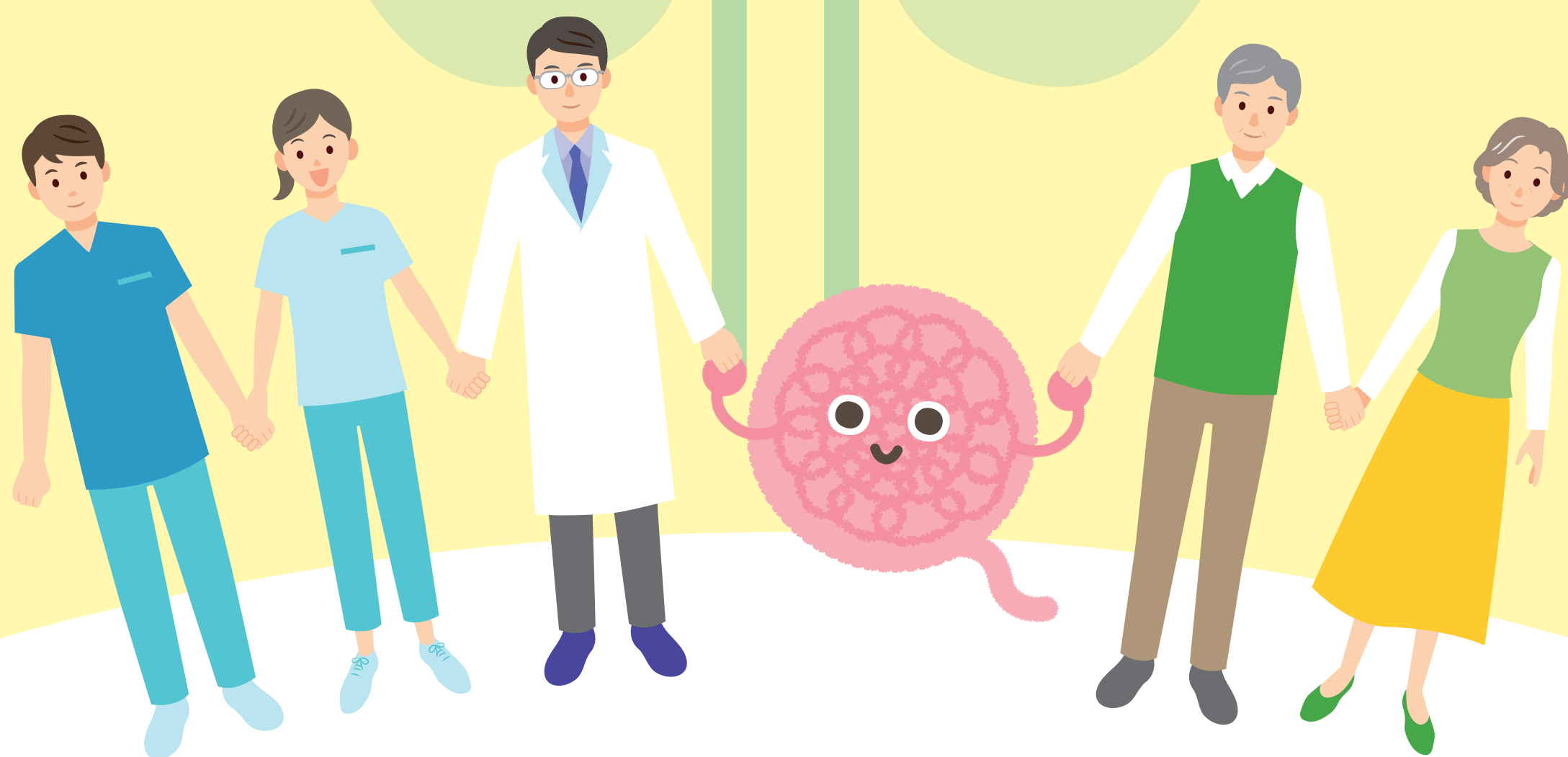


人生100年時代。 あなたの腎臓が、これからも元気に 働き続けられるか 確認してみませんか？



成人の5人に1人が、腎臓の機能が慢性的に低下している「CKD（慢性腎臓病）」であるといわれています¹⁾。

加齢とともに慢性腎臓病になる方の割合は増えていき※、特に糖尿病や高血圧がある方では慢性腎臓病が発症、進行するリスクが高くなります¹⁾。

慢性腎臓病は自覚症状がないまま進行し、進むにつれて透析などが必要になる末期腎不全や、心筋梗塞や脳卒中などの心臓や血管の病気になるリスクが高くなります²⁾。

一度低下した腎臓の機能は元に戻りにくいとされていますが、早期に発見して治療を始めることで、慢性腎臓病の進行を緩やかにできる可能性があります¹⁾。

※65歳以上では約4人に1人、75歳以上では約3人に1人が慢性腎臓病と推定されています³⁾。

【参考文献】1) 日本腎臓学会 編. CKD診療ガイド2024. 東京医学社, 2024. 2) 日本腎臓学会 編. 患者さんとご家族のためのCKD療養ガイド2024. 東京医学社, 2024.
3) Kobayashi A, et al. Clin Exp Nephrol. 2025; 29: 276-82.

人生は『腎』生。
100歳まで腎臓に元気でいてもらうために、早めに
腎臓の機能について、お医者さんに相談しましょう。

